

## 2023 年 9 月 24 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

地球を本当に調和した美しい星にするためには、神聖復活しつつある私たちの心のなかで、縦の繋がりと横の繋がりにおける受容範囲を広げてゆく必要があります。それは私たちの器を大きくすることであり、広く深く高く次元の垣根を越えながら、意識の視座を上げてゆくことでもあります。

なぜそうした意識の運用が必要かと申しますと、肉体身を自分だと信ずる想念に根ざした決め付けやこだわり、思い込み等を自分の考えと認め、そのみを肯定しておりますと、偏りと臭みのある人物に成り下がるしかない寄り道に迷い込んでしまうからです。

そのためには、日々の意識の用い方を、意識的に神聖波動を顕すものに昇華してゆく瞬間瞬間の練習が必要です。何処かの大学の研究者によると、人が習慣を根底から変えるには、おおむね三週間前後あれば一定の成果を得られるという実験結果があるのだそうです。

それを根拠に「習慣を変える練習を三週間やりましょう」と提唱する方もおられますが、こと想念習慣にしましては、どれだけ以前かわからない過去世からのものもありますので、三週間で直る場合もあれば、三ヶ月、三年、三十年、それ以上の場合もあると思われます。

日々の意識の用い方を、意識的に神聖波動を顕すものに昇華してゆく瞬間瞬間の練習を可能にするのに、効果的な方法として私がお勧めできるのは、ある一定期間の意識的な呼吸への取り組みであります。(それは三ヶ月かも知れませんが三年ぐらいかも知れません)

一日中の呼吸、起きている間中の呼吸をユッタリとしたものにする練習をしてゆきますと、知らない間にいつもの想いが臍下丹田に収まります。通常は頭から胃のあたりまでをフワフワと浮遊している想いが臍下丹田に収まりつづけますと、知らない間に神聖意識が自分の当り前、常識に変わります。

そうなりますと、関わりのある人を通して、その人の家族や人間関係、その人自身の霊系統の繋がりにも意識が及んで、より広い範囲に神聖の光を及ぼすことが可能になります。

またそれよりも大事なこととして、9月9日(土)の『神聖で繋がり合う日』のPDF資料にありました魂の構造における「第二の通路」が先に開通し、守護霊・守護神意識との一体化を果たし、次に肉体・幽体・分霊・直霊と繋がる「第一の通路」が開通してまいります。それもこれもすべては、日々のたゆみない祈りと印と、意識的な呼吸と意識の運用の賜であります。

土曜日の夜はそうように、臍下丹田を意識していのちの源と一体となり、あらゆる未成仏階層のたくさんの自分に神聖の息吹を吹き込むと共に、大自然と生きとし生けるもの達が息を吹き返し、人類ひとりひとりが神聖を思い出すきっかけとなるいのちの光を発神してまいりたいと思います。

## 2023 年 9 月 24 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆さま、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。案内メールにも書きましたが、私たちの普段の呼吸をユツタリとしたものに変えてゆきますと、肉体の想いの重心が安定した状態で臍下丹田に収まって、神聖が表面化した意識でいられる時間が飛躍的に長くなってまいります。

その理由は、下の方のチャクラや臍下丹田のある場所が、肉体側から見て、表面意識と神聖意識が出入りする場所・ポータルになっているからです。そこを起点にして、内在している神聖意識と、「肉体こそが私なんだ」と信じ込んでいた想いが入れ替わりますと、『神聖の視座の立ち位置に立ってすべてを俯瞰すること』や、『次元の奥行きを伴った同時多角的視野を自己のものとする』が、実際に自らの意識の在り方に顕われてくるため、私たちが世界を見る眼のある場所が、いつの間にか神界の方々に近づいてまいります。

どれだけそこに近づいているか、につきましては、心の眼に掛かっている色眼鏡の色がどれだけ薄まっているかによりますが、現時点で確実にいえることは、どのような意識状態であっても、誰もがそこに近づいていることは絶対なる事実だということです。

そうなってまいりますと、私たちと関わりのある人たちの家族や人間関係という横の繋がりや、関わりがある人の縦の霊系統の繋がりにも意識が及んで、より広い範囲に神聖の光を及ぼせるようになります。

それ以上に大切なことは、魂の構造における第二の通路、守護霊・守護神意識に連なる通路が先に完全開通して、第一の通路である自分自身の意識が、肉体－幽体－霊体－神体と奥に広がりながら、次元の奥の意識に統合してゆき、やがていのちの根源に還元する『生命の道』を完うすることに繋がってまいります。

そのように、意識が奥へ奥へと還元してゆき、奥の意識が表面に顕われてくると、私たちの自我のフィルターにより、歪んで映し出されていた思い込みやこだわり、決め付けや信じ込みといった粘着質な想念習慣がいつの間にか影を潜め、太陽が燦々と輝いた青空のような意識が私たちのスタンダードな意識、標準意識になってまいります。

そうなってきますと、他人を自分の思いのままに動かそうとか、上に立とうとか、操ろうとか画策するような、自我の想いがなくなってまいります。どんなに正しいと思える想いも、他人の心を暗くするならそれは本物ではないわけですから、私たちがいのちが本来は、光そのものであることを自覚しながら、肉体としては青空のように、また、大地のように、愛そのものの気持ちでお祈りしてまいりたいと思います。

繰り返しますが本日は、そのように明るく爽やかな、人を暖かい気持ちにさせる心を当り前の意識として、独りよがりには陥らず、神々と一緒の見地から、地球にかかわるすべての状況や、それらに対する自身の様々な想いを俯瞰しながら、脳裡に浮かぶ批判・非難・評価の想いさえも流れる雲のように見つめながら、次元の垣根を越えた『いのちの大元の光』を放ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは時間になりましたので、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。三分半の CD を使って行ないますので、眼を閉じて神聖の視座に焦点を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら目を開けてください。それでは始めます。